

## 特別寄稿

医療看護研究31 P. 9-10 (2023)

## シミュレーション教育研究センター創設の意義と展望

The New Simulation Education Research Centre of Juntendo University ;  
An Operation Policy and Future Perspectives of Simulation-based Research植 木 純<sup>1)</sup>  
UEKI Jun

看護のBest Practice実現に向けシミュレーション教育に関する研究の推進、先端的な教育手法の構築を図る目的で、2022年4月にシミュレーション教育の研究拠点を浦安キャンパスに開設しました。本センターは機能が浦安市日の出キャンパスに移行した体育館を利活用した施設で、ラーニングコモンズを併設、主な改修工事が10月中旬に終了して11月にオープンしました(図1)。本学には本郷・お茶の水キャンパスに「メディカルテクノロジー&シミュレーションセンター」が設置されていますが、本センターは組織図上では大学院医療看護学研究科に附属する看護教育に特化した研究センターです。医療看護学部では、これまでシミュレーション教育を先駆的に導入してきましたが、本研究センターは看護系でシミュレーション機器やシステムの開発に取り組む看護系大学では国内唯一のシミュレーション教育領域における研究施設と位置づけられます。

研究センターは約450平米、使用目的に応じてスクリーンでコンパートメント化できる可変式の28ブース(コントロール室2ブース)から構成され(図2)、クリティカルケア病棟、周産期センター、手術室、外来、ナースステーション、在宅等の医療現場を再現し、附属病院で使用している電子カルテ(IBM)を約20台設置します。



図1 シミュレーション教育研究センターの外観

1) 順天堂大学 シミュレーション教育研究センター センター長  
順天堂大学 大学院医療看護学研究科 研究科長/医療看護学部 学部長  
*Director of Simulation Education Research Centre, Juntendo University*  
*Dean of the Graduate School and the Faculty of Health Care and Nursing, Juntendo University*

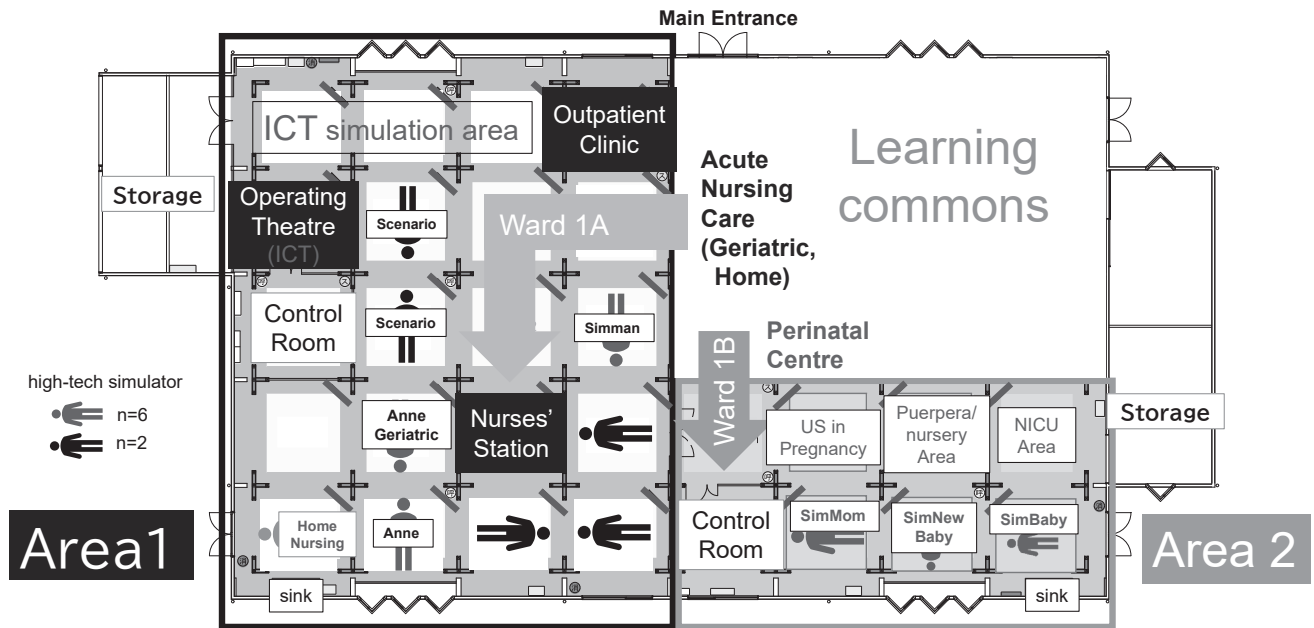


図2 シミュレーション教育研究センターのフロアマップ

研究活動では、各領域に参画いただきシミュレーター機器を用いた研究およびICTを導入したシミュレーション教育システムの開発・検証に取り組みます。研究成果は学生教育にフィードバックして、センターは演習などの学部生、大学院生の教育、新人スタッフ研修、市民公開講座などにも活用します。シミュレーター機器を用いた研究では、配置された高機能（成人、高齢者、産科、小児科）シミュレーター8台を含む15台の患者シミュレーターや蘇生トレーニング用マネキン、基本手技シミュレーターなども用いて、校舎内演習室のシミュレーターも含めたアクティブラーニングを展開し、シミュレーション教育手法を検証、最適化を目指します。ICTを導入したシミュレーション教育の研究では、医学部メディカル・メタバース共同研究講座と連携したメタバースを導入したシミュレーション教育の開発と効果の検証などの研究に着手しました。附属病院施設内の仮想空間におけるシミュレーション教育の研究です。また、附属病院で実際に使用されている電子カルテを用いた実践的な患者シミュレ

ーションや多職種連携シミュレーションなどの開発も新しい研究領域で、附属病院看護部との協同研究チームを編成して次年度より着手します。AI導入などのシミュレーション教育に関連する科研費研究、産学共同研究などへの研究の場を提供します。シミュレーション教育の対象者は、学生や医療スタッフに止まらず、術前後や急性・慢性疾患患者へのセルフマネジメント教育にも拡大して研究を行います。

次年度よりポストドクトラルフェロー（公募）や事務所担当職員も配置し、研究センターを活用した浦安キャンパスにおける研究活動のさらなる活性化、より多くの科研費など競争的研究費の獲得に取り組みます。本研究センターによる先進的なシミュレーション教育の開発・導入などの研究活動が、次世代をになう人材の育成（学部生・大学院CNS、附属病院スタッフ、潜在看護師など）、医療の質の向上、さらには生活習慣病などの予防や病気を持つ人の健康の回復、維持・増進に寄与できるように、継続して活動できる施設の構築を目指します。ご支援宜しくお願い致します。